

イワタニの価値創造プロセス

事業環境

<p>資源・エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> 資源やエネルギーの安定供給確保 地政学リスクの高まり 	<p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 気候変動や自然災害への対策 脱炭素社会への移行 	<p>社会</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減、高齢社会への対応 消費者の価値観の多様化 社会の持続性に対する要請の高まり
--	---	--

長期ビジョン

当社は、「住みよい地球」の実現に貢献し続ける企業グループとなるために、4つの長期ビジョンを達成することを目指してまいります。

- CO₂フリー水素サプライチェーン構築
- 循環型社会の推進
- 地域社会を支えるインフラ・サービスの提供
- 持続的成長を推進する経営基盤の強化

INPUT BUSINESS MODEL OUTPUT OUTCOME

財務資本

- 営業利益 431億円[市況要因除く]
- 自己資本比率 46.0% (2023年3月末)

製造資本

- 安定供給を実現するLPガスと産業ガスの全国ネットワーク

知的資本

- 中央研究所・岩谷水素技術研究所での技術開発力
- ガス&エネルギーのハンドリング技術および高度な保安体制

人的資本

- 連結従業員数 11,351名 (2023年3月末)
- ダイバーシティ&インクルージョン推進
- 製造・保安を支える専門人材
- 社員の持続的な成長を実現する人材開発制度

社会・関係資本

- LPガス事業の全国規模の顧客基盤
- LPガスと産業ガスの強固な特約店ネットワーク
- 海外サプライヤーとの強固な関係
- 水素事業関連のアライアンス

自然資本

- エネルギー使用量(熱量換算合計) 1,765TJ (2022年度(国内))

企業理念
「世の中に必要な人間となれ、世の中に必要なものこそ栄える」



透明性をより高めたガバナンスの構築



多様な人材が活躍できる環境整備と制度構築

イワタニ企業倫理綱領・イワタニグループ環境憲章

- 危機管理委員会**
- 安全保障輸出管理委員会/個人情報保護委員会/コンプライアンス委員会/工場保安委員会
 - サステナビリティ推進委員会/海外安全管理委員会/CS委員会/製品安全・ブランド委員会

財務資本

- 営業利益 650億円
- ROE 10%以上
- ROIC 6%以上 (PLAN27目標値)

製造資本

- LPガスの卸売・小売業界シェア No.1
- 水素(液化水素を含む)市場シェア 約70%
- ヘリウム市場シェア 約50% (2023年3月末)

知的資本

- 低・脱炭素ソリューションの提供
- 脱炭素技術の確立
- 持続可能な社会に貢献する先端技術の開発
- CO₂フリー水素サプライチェーン構築に向けた実証

人的資本

- 女性管理職比率 10%以上
- 社員一人当たり年間研修費用 150千円
- 男性育児休業取得率 100% (PLAN27目標値)

社会・関係資本

- 多様化する顧客ニーズに寄り添った新たな価値・サービスの創出
- ガス・エネルギーの安定供給体制の強化
- 希少資源の安定供給体制の強化
- 水素の社会実装の早期化

自然資本

- 事業活動におけるCO₂排出量 (2030年度目標:2019年度比50%) 約22万トン (2022年度(国内))
- 環境商品による社会のCO₂削減量 約56万トン (2022年度)
- 燃料転換、FCVへの水素供給、PKS拡販など



持続可能な社会の実現につながる事業の創出



豊かな暮らしを支えるインフラ・サービスの提供



技術・ノウハウの活用によるイノベーションの推進



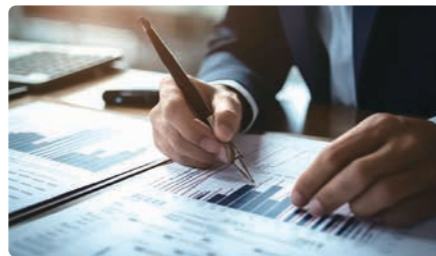
価値創造につながる主要な資本

イワタニグループの価値創造の源泉を、財務資本、製造資本、知的資本、人的資本、社会・関係資本、自然資本の6つの資本で示しています。これらの資本を効果的に組み合わせ活用し、企業理念や経営方針のもと事業活動を行うことで、社会課題の解決を図るとともに、新たな価値を社会に提供していきます。その結果として、新たな価値創造の源泉となる資本を蓄積していくことで、自らの成長と社会価値創造の好循環を生み出し、持続的な企業価値向上を目指します。

財務資本

積極的な成長投資に対応できる健全な財務基盤

イワタニグループでは継続的に収益力の強化に取り組み、獲得した資金により着実に財務基盤の強化を図ってきました。2020年には、転換社債型新株予約権付社債300億円が普通株式に転換され、2021年には長期発行体格付「A」を取得し、初めてグリーンボンドを発行するなど、健全な財務基盤が確保できています。この財務基盤を生かし、中期経営計画「PLAN27」では、5年間で4,700億円の積極的な投資を計画しています。外部財務格付「A」を維持した上で、計画が進んでいる「CO₂フリー水素サプライチェーン構築」など、想定される大型投資にも対応してまいります。



● ネットD/Eレシオ	● 営業利益 (市況要因除く)	● 総資産	● 自己資本比率	● 外部財務格付 (日本格付研究所)
0.35倍	431億円	6,560億円	46.0%	長期発行体格付A (2023年3月末)

製造資本

安定供給を実現するLPガスと産業ガスのネットワーク

イワタニグループでは、ガス&エネルギーを中心として、国内外に幅広いネットワークを保有しています。LPガス事業では、輸入基地から充填基地、配送拠点を日本全国に有しており、産業ガス事業についても、国内外でサプライチェーンを構築しています。これらのネットワークを生かした安定供給の体制がイワタニグループの強みです。



● LPガス拠点	● 産業ガス拠点	● 水素ステーション
一次基地(輸入基地) 5カ所	総合ガスセンター 21カ所	国内 54カ所
二次基地(LPガスターミナル) 3カ所	水素工場 11カ所	海外 6カ所
三次基地(充填所) 110カ所	国内	
上記のうち、LPG基幹センター※ 56カ所	空気分離プラント 9カ所	
	ヘリウムセンター 2カ所	
	液化炭酸ガス工場 など 6カ所	
	海外拠点 12カ所	
		(2023年3月末)

※LPG基幹センター：耐震性の増強や非常用発電機などを整備した災害に強いセンター

知的資本

事業を支える技術開発拠点／長年培ったガス&エネルギーのハンドリング技術

中央研究所では、長年培ったガス&エネルギー分野の技術力により、お客さまとともに新たな価値を創造する技術開発を行っています。また、岩谷水素技術研究所では、液化水素関連技術をはじめ、脱炭素社会の実現に向けて重要となる、水素エネルギー関連技術やグリーンLPガス関連技術などの研究開発を進めています。



● 国家プロジェクト・公的研究機関 との共同研究案件数	● 研究所への来訪者数
計10件	3,654名 963社 (2022年度)

人的資本

新たな価値創造に挑戦する多様な人材／持続的な成長を支える専門人材

イワタニグループでは、社会に新たな価値を創造して事業を成長させる人材に加え、ガス&エネルギーの安定供給体制を支える製造・保安・技術などの専門人材が活躍しています。多様な人材が能力を最大限発揮できる環境を整えるとともに、一人ひとりの成長を支えるさまざまな研修の場を提供することなどにより、常に「世の中の必要」に応える人材を確保し、持続的な成長を実現しています。



● 連結従業員数	● 新卒総合職女性採用比率	● 人材育成投資	● 製造・保安を支える専門人材
11,351名 (2023年3月末)	35.0% (2023年度(単体))	約1億円/年 (2022年度(単体))	高圧ガス製造保安責任者 938名 高圧ガス販売主任者 337名 (2023年3月末)

社会・関係資本

成長の基盤となるお客さま・取引先との信頼関係

イワタニグループでは、お客さまへガスを安全に安定供給を行うことで、信頼の蓄積に努めています。また、世の中へ広く価値をお届けするための特約店組織や、新たな価値の創造や安定供給に必要なサプライヤーとの関係強化にも注力しています。ステークホルダーとの信頼関係は、持続的な成長の基盤となる重要な資本となっています。



● LPガス顧客数	● 特約店との強固な関係
卸売顧客 330万世帯 うち直売顧客 110万世帯 (2023年3月末)	マルキ会※1 約1,400会員 ※1 LPガスの特約店組織 イワタニ会※2 189会員 ※2 産業ガスの特約店組織 (2023年3月末)

自然資本

脱炭素社会の実現に向けた取り組み

イワタニグループでは、事業活動の脱炭素化に加え、お客さまの事業活動を脱炭素化する商品・サービスの提供も推進しています。総合エネルギー、産業ガス・機械、マテリアルの3つの事業が一体となり、脱炭素社会の実現に貢献します。

● CO ₂ 削減貢献量
事業活動におけるCO ₂ 排出量 約22万トン ※2022年度(国内) (2030年度目標:2019年度比50%)
環境商品による社会のCO ₂ 削減量 約56万トン ※2022年度

